

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるような、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	12	職員一人ひとりに余裕が見られない。バラつきのある思考と行動が多くみられ、良い空間づくり、良い介護が出来ていない。	スローガンでもある「笑顔の見えるケア」を志し、ご利用者様に安心・安全な生活空間を提供出来るように心掛けていく。	時間を要せずに、直ぐにでも取り組まなければいけない。常に話し合いの場を持ち、報連相を実行し、協力し合っていく。	3～6ヶ月
2	36	言葉遣いや声掛けに注意が必要。	馴れ合いになりがちな言葉遣いについて、研修課題でもある接遇マナーを共有し、ご利用者様一人ひとりの尊厳とプライバシーを常に意識していく。	職員同士で常に意識しあい注意する。又は提案していく(ダメなところや言い方の工夫など)。	6ヶ月
3	52	清掃が行き届いていない(指定された場所や決められた事以外)	決められた場所、箇所以外の掃除をしていく。	気付いた職員だけがやるのではなく、協力し合って取り組む。指定箇所の清掃の中に定期的に入れていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。